

第 17 回教育研究大会のご案内

1. 目的 高等学校教育における生徒の学習活動のあり方について実践的研究を推進する
2. テーマ 「主体的な学習者の育成をめざして ～学ぶ意欲を高める学習指導や進路指導の在り方～」
3. 日時 平成 27 年 11 月 20 日(金) 9:30～17:00
4. 会場 京都市立堀川高等学校
〒604-8254 京都市中京区東堀川通錦小路上る四坊堀川町 622-2
URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/horikawa/>
5. 参加対象 学校関係者, 教育関係者
6. 参加費 一人 2,000 円(資料代を含む)
*京都市立学校関係者については参加費は不要です。
*SSH 指定校につきましては、本大会は SSH 事業ではありませんので、参加費が必要となります。また、各校の SSH 経費からの交通費支出は認められないという連絡を JST から受けております。あしからずご了承ください。

7. プログラム

8:45	9:30	10:20	10:40	11:30	11:45	12:35	14:00	16:00	16:15	17:00
受付	全体会 I	(移動) 休憩	公開授業 I 研究授業 I	(移動) 休憩	公開授業 II 研究授業 II	昼食・休憩	分科会	(移動) 休憩	全体会 II	

8. 内容

◆ 全体会 I 9:30～10:20

校長挨拶

京都市教育員会御挨拶

「本校の進路指導」 1 年学年主任 滝本 順之

◆ 研究授業Ⅰ 10:40~11:30

授業名	授業内容		授業者 担当クラス
現代文研究Ⅰ	タイトル	『こころ』を読む	船越 康平 2年5組 (人間探究科)
	概要	夏目漱石『こころ』について、グループでの活動を通して、その深奥に迫り、自ら発動した「おもしろがる」気持ちを他者に還元する。	
	ねらい	一つの文学作品教材を精読し、グループで作品世界の深遠を究めるプロセスを経ることで、個々の生徒の興味関心を発動させる。また、「おもしろがる」気持ちを講座内で共有する場を設けることで、さらなる気づきを発動させる。	
生物基礎	タイトル	生態系を考える	高田 那緒 2年1・2組 (普通科理数 探究コース)
	概要	課題に取り組みながら生態系についての理解を深める。	
	ねらい	課題の解決に向けて主体的、協働的に考え学び合うことをめざす。	
コア・イングリッシュ	タイトル	言語における5技能の力を伸ばす授業	芹澤 和彦 1年5組 (探究学科群)
	概要	名詞・冠詞の特徴を意味ある文脈の中で理解し、自己表現として発信する。	
	ねらい	アクティブラーニングにより、生徒の主体性を促進し、英語を最大限使用する授業を目指す。	

◆ 研究授業Ⅱ 11:45~12:35

授業名	授業内容		授業者 担当クラス
世界史B	タイトル	授業における「アクティブシンキング」	村井 昂介 2年3・5組 (人間探究科)
	概要	題材の学習から知識を得つつ、歴史的事象の意義や背後にある因果関係をペア・グループワークを通じて考察する。	
	ねらい	生徒間の交流の中で、歴史的事象の関係性に気づき、習得した知識の背後にある因果関係を自ら考え深める姿勢を養う。	
数学Ⅰ	タイトル	式と証明(数学Ⅱ)	和泉 信彦 1年4組 (探究学科群)
	概要	式変形の習熟のみでなく、背景や意味を考えることを通して証明の基礎となる論証力と数学的思考を育成する。	
	ねらい	証明を通して考え続ける力・考え抜こうとする姿勢を身につけさせる。	
コミュニケーション 英語Ⅱ	タイトル	生徒が刺激しあう授業を目指して	川久保 和代 2年2組 (普通科)
	概要	本文のテーマ(はやぶさの地球帰還と宇宙探索)を通して科学的知識を深め、自らの考えを加えながら英語で表現する。	
	ねらい	本文の内容について自分の言葉でまとめながら、自分の意見も加えて英語で表現する。ペアの発言をよく聞き質疑応答(Quick Response)し、生徒が刺激しあう授業を目指す。	

◆ 分科会 14:00～16:00

分科会 国語	テーマ 国語を「おもしろがる」	
<p>前半では、研究授業の協議を中心に据え、夏目漱石『こころ』の授業を通して、生徒の「おもしろがる」気持ちの発動をどのように見据え授業を展開するかについて、考えていきたいと思ひます。</p> <p>後半では、助言者の方より、国語の授業でのアクティブ・ラーニングについてのご講演をいただき、国語の授業の今日的な課題、本校の取組などを中心に、ご参加いただいた先生方との意見交流を行いたいと思ひます。</p>		
発表 船越 康平	司会 若林 武史	記録 村石 健
助言者・講演者 産業能率大学経営学部教授 鈴木 建生 氏		

分科会 地歴・公民	テーマ 地歴・公民科目における「アクティブシンキング」の育成	
<p>前半では、研究授業の協議を行います。歴史的な事象の関係性や因果関係について、自ら考え深める姿勢を育成するにはどうしたらよいか、生徒間交流を活用した授業展開について、考えたいと思ひます。</p> <p>後半では、学ぶ意欲を高める上で重要と考える、「アクティブシンキング」の育成や興味関心の向上をはかる授業実践例について、公開授業者の報告も踏まえ、小教科ごとに分かれて、具体的な意見交流を行いたいと思ひます。</p> <p>(※「アクティブシンキング」とは、3年間を通じて学習する地歴・公民科目の様々な出来事、事象の因果関係、現代とのかかわり、物事の背景などについて、生徒自ら積極的につなげようと試みる姿勢、という意味で用いています)</p>		
発表 村井 昂介 吉谷 智美 滝本 順之 池川 真一 山本 敏博	司会 滝本 順之	記録 戸田 紗耶未 板倉 悠里子
助言者 京都市教育委員会学校指導課高校教育担当指導主事 西村 浩治 氏		

分科会 数学	テーマ 主体的な学習を引き出す授業の研究	
<p>前半では、研究授業の協議を行います。</p> <p>後半では、本校での3年間を見据え各学年で実践している内容について、また、生徒の主体性と学習意欲を高め学力向上につながる授業の研究、生徒の様子や声をふまえた評価結果や今後の課題などもご報告します。</p>		
発表 井尻 達也 三浦 幸一郎 岩本 進 谷口 秀一 和泉 信彦	司会 和泉 信彦	記録 鈴木 雄介 門林 奨
助言者 元立命館大学教育開発推進機構教授 大学コンソーシアム京都高大連携推進室アドバイザー 椋本 洋 氏		

分科会 理科	テーマ モチベーション向上のための授業の実践事例	
<p>前半では、研究授業の協議を行います。</p> <p>後半では、理科の授業において、モチベーション向上のために意識し取り組んでいることを、生徒の様子や声をふまえて、今後の課題とともに、報告します。また、生徒の意欲を引き出す工夫について、ご参加いただいた先生方と交流したいと思います。</p>		
発表 小教科の各代表	司会 田中 雅彦	記録 大隅 利男 西村 芳江
助言者 京都市教育委員会学校指導課高校教育担当指導主事 谷口 衛 氏		

分科会 英語	テーマ 生徒の「読みたい・聞きたい・書きたい・話したい」を引き出す取組	
<p>前半では、研究授業の協議を行います。</p> <p>後半では、本校での取組を紹介させていただいたのち、各校で「生徒の学習意欲を高める」ためにどのような実践を行っておられるのか、失敗例なども含めながらご参加いただいた先生方と交流し、学習意欲をより引き出す方策を共に考えていきたいと思ひます。</p>		
発表 川久保 和代 芹澤 和彦	司会 橋詰 忍	記録 諏訪 郁子
助言者 立命館大学教育開発推進機構教授 山岡 憲史 氏		

◆ 全体会Ⅱ 16:15～17:00

「学ぶ意欲をいかに測るか」 企画研究部 米光 隆浩

質疑応答

9. 申込方法

「第 17 回教育研究大会のご案内」パンフレット(以下「ご案内」)に記載しています。
参加をご希望される方は、下記メールまで「ご案内」をご請求ください。

kenkyu2015req*horikawa.edu.city.kyoto.jp
(*を@にかえてください)

なお、第 16 回以前の教育研究大会に参加いただいた高等学校には、学校あてに「ご案内」をお送りいたします(10 月上旬発送予定)。メールは以下の書式にて、必要要件をご記入の上お送りください(11 月 2 日締切)。

件名	案内パンフレット請求:(学校・機関名)
本文	郵便番号: 住所: 学校・機関名: 請求者所属: 請求者氏名: 電話番号: E-mail アドレス:

確認後に、「ご案内」をお送りいたします。

「ご案内」の内容:

- ①研究授業・公開授業・分科会一覧
- ②申込書ダウンロードおよび記入方法
- ③申込書の送信方法
- ④確認・申し込み内容変更方法

10. 問い合わせ先 京都市立堀川高等学校 企画研究部 伊藤, 米光
TEL 075-211-5351 FAX 075-211-8975